



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 神姫バス株式会社 上場取引所 東
コード番号 9083 URL <https://www.shinkibus.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長尾 真
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 濱田 環樹 TEL 079-223-1243
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	34,948	11.7	758	412.4	764	145.7	355	129.5
2023年3月期第3四半期	31,280	13.6	148	—	311	—	154	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 352百万円 (254.9%) 2023年3月期第3四半期 99百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	58.96	—
2023年3月期第3四半期	25.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	59,927	45,064	75.2
2023年3月期	60,627	44,907	74.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 45,064百万円 2023年3月期 44,907百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	22.50	—	17.50	40.00
2024年3月期	—	17.50	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2023年3月期中間配当金の内訳 普通配当 17円50銭 記念配当 5円00銭（創立95周年記念配当）

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,100	9.5	2,650	12.2	2,770	5.6	1,760	△0.3	292.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	6,172,000株	2023年3月期	6,172,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	146,453株	2023年3月期	151,004株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	6,024,083株	2023年3月期3Q	6,021,361株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢の改善や賃金上昇による個人消費の増加、インバウンド需要の回復により、景気は緩やかな回復基調となりました。しかしながら、資源価格高騰に伴う物価高や、労働需給回復による人手不足など先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループにおいてはコロナ禍から回復しつつある旅客輸送、旅行、飲食サービスなどのサービス需要及びインバウンド需要の取込みを中心として、自動車運送事業では神戸・大阪エリアの路線拡充、不動産事業では賃貸物件の取得など各事業において収益基盤強化に取り組みました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同期比3,668百万円(11.7%)増の34,948百万円、営業利益は前年同期比610百万円(412.4%)増の758百万円、経常利益は前年同期比453百万円(145.7%)増の764百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比200百万円(129.5%)増の355百万円となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。売上高、営業利益はセグメント間の内部売上高又は振替高控除前の金額であります。

① 自動車運送

乗合バス部門においては、三田～大阪・新大阪線を増便するなど注力エリアにおいて利便性向上を図りました。ICカード利用者数は前年同期比6.2%の増加となり、コロナ禍前の水準には戻っていないものの、新型コロナウイルス感染症の5類移行などの影響により、輸送人員は緩やかに回復しております。また、公共交通事業者として持続的に安全・安心な輸送サービスを提供するため、12月に一般路線全線(神戸市内及び三木市内の一部路線を除く)において運賃改定を実施しました。高速バス部門においては、一部路線において他社との共同運行を拡大するなど利便性向上に取り組み、淡路島線、三宮～四国線、中国ハイウェイ線(大阪～岡山県津山市)を中心に収益は回復傾向となっております。車両管理部門においては、スクールバスなどの運行管理業務を新たに請け負ったことにより増収となりました。以上の結果、売上高は前年同期比841百万円(5.8%)増の15,341百万円、営業損失は848百万円(前年同期は営業損失1,050百万円)となりました。

② 車両物販・整備

車両物販部門においては、自動車整備の需要拡大により補修部品の出荷が好調に推移していることに加え、大型設備機器の販売や自動車販売台数の増加により増収となりました。整備部門においては、車検整備台数の増加などにより増収となりました。以上の結果、売上高は前年同期比523百万円(8.0%)増の7,030百万円、営業利益は前年同期比83百万円(19.4%)増の514百万円となりました。

③ 不動産

賃貸部門においては、新たに賃貸用事業用地を取得したことや、前期に取得したサービス付き高齢者向け住宅などが増収に寄与しました。住宅部門においては、注文住宅及び建売住宅の引き渡し数が増加しました。建設部門においては、ドラッグストアや保育園などの建設工事を請け負ったことにより増収となりました。以上の結果、売上高は前年同期比667百万円(19.6%)増の4,074百万円、営業利益は前年同期比159百万円(17.6%)増の1,068百万円となりました。

④ レジャーサービス

サービスエリア部門においては、高速道路の交通量回復に伴い利用者が増加したため増収となりました。飲食部門においては、外食消費が回復基調に入ったことに加え、10月に「豚小家高槻店」を出店したことなどにより増収となりました。ツタヤFC部門においては、新たにトレーディングカードの取扱いや文具雑貨の売場拡大を実施しましたが、レンタル市況の悪化加速と書籍販売の減少により減収となりました。以上の結果、売上高は前年同期比348百万円(11.4%)増の3,395百万円、営業利益は44百万円(前年同期は営業損失30百万円)となりました。

⑤ 旅行貸切

旅行部門においては、インバウンド需要回復に伴い訪日外国人向け周遊ツアーの集客数が増加したことに加え、コロナ禍で差し控えられていた団体旅行の需要が持ち直したことなどにより増収となりました。貸切バス部門においては、貸切バスの公示運賃改正により受注単価が上昇したことなどにより増収となりました。以上の結果、売上高は前年同期比1,164百万円(35.9%)増の4,408百万円、営業利益は107百万円(前年同期は営業損失9百万円)となりました。

⑥ その他

経営受託部門においては、新たに三田市都市公園、三木山総合公園・吉川総合公園などの指定管理を獲得したことや、書写山ロープウェイなど既存施設の利用者が増加したことなどにより増収となりました。農業部門においては、バスの八百屋2店舗を新たに新店したことにより増収となりました。介護部門においては、ショートステイを廃止したことにより減収となりました。以上の結果、売上高は前年同期比513百万円（18.2%）増の3,330百万円、営業損失は111百万円（前年同期は営業損失110百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ699百万円減少し、59,927百万円となりました。増減の主なものは、現金及び預金の減少1,216百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少1,385百万円、有形固定資産の増加1,172百万円、仕掛品の増加338百万円、その他流動資産の増加272百万円などです。

負債は、前連結会計年度末に比べ856百万円減少し、14,863百万円となりました。増減の主なものは、借入金の減少716百万円、未払法人税等の減少596百万円、賞与引当金の減少402百万円、未払金の増加870百万円などです。

純資産は、利益剰余金の増加144百万円などにより、前連結会計年度末に比べ156百万円増加の45,064百万円となり、自己資本比率は75.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年11月10日に公表した予想を変更しておりません。今後の事業環境や収益見通しなどを見極め、業績予想の修正の必要性があれば速やかに修正を公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,973	8,756
受取手形、売掛金及び契約資産	5,160	3,774
有価証券	20	20
商品及び製品	577	760
仕掛品	90	429
原材料及び貯蔵品	115	134
分譲土地建物	615	570
その他	270	543
貸倒引当金	△34	△4
流動資産合計	16,789	14,985
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,837	26,604
減価償却累計額	△15,984	△16,142
建物及び構築物（純額）	10,853	10,462
機械装置及び工具器具備品	3,099	3,192
減価償却累計額	△2,475	△2,561
機械装置及び工具器具備品（純額）	624	631
車両運搬具	17,591	18,009
減価償却累計額	△15,975	△16,371
車両運搬具（純額）	1,616	1,638
土地	22,639	23,568
リース資産	533	486
減価償却累計額	△391	△227
リース資産（純額）	142	259
建設仮勘定	341	830
有形固定資産合計	36,218	37,391
無形固定資産	323	273
投資その他の資産		
投資有価証券	3,601	3,482
退職給付に係る資産	1,573	1,620
その他	2,174	2,226
貸倒引当金	△53	△50
投資その他の資産合計	7,296	7,277
固定資産合計	43,838	44,942
資産合計	60,627	59,927

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,273	1,486
1年内返済予定の長期借入金	897	591
リース債務	109	97
未払金	2,689	3,560
未払法人税等	726	129
賞与引当金	1,044	642
その他	2,747	2,420
流動負債合計	9,487	8,928
固定負債		
長期借入金	1,881	1,470
リース債務	123	225
役員退職慰労引当金	17	9
関係会社事業損失引当金	13	—
退職給付に係る負債	989	983
その他	3,207	3,245
固定負債合計	6,232	5,934
負債合計	15,720	14,863
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,140	3,140
資本剰余金	2,247	2,249
利益剰余金	38,404	38,549
自己株式	△453	△439
株主資本合計	43,339	43,499
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,501	1,526
為替換算調整勘定	△12	△17
退職給付に係る調整累計額	79	55
その他の包括利益累計額合計	1,568	1,565
非支配株主持分	0	0
純資産合計	44,907	45,064
負債純資産合計	60,627	59,927

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	31,280	34,948
売上原価	25,815	28,137
売上総利益	5,464	6,811
販売費及び一般管理費	5,316	6,053
営業利益	148	758
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	67	75
助成金収入	160	33
その他	52	66
営業外収益合計	286	181
営業外費用		
支払利息	5	4
持分法による投資損失	65	75
固定資産除却損	11	11
関係会社貸倒引当金繰入額	3	3
関係会社事業損失引当金繰入額	7	5
投資事業組合運用損	11	62
その他	20	13
営業外費用合計	123	175
経常利益	311	764
特別利益		
車両等購入補助金	0	101
固定資産売却益	—	64
特別利益合計	0	166
特別損失		
固定資産除却損	—	115
固定資産圧縮損	0	29
減損損失	0	2
特別損失合計	1	146
税金等調整前四半期純利益	310	784
法人税等	154	428
四半期純利益	156	355
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	154	355

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	156	355
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17	23
退職給付に係る調整額	△37	△24
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△3
その他の包括利益合計	△57	△3
四半期包括利益	99	352
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	97	351
非支配株主に係る四半期包括利益	1	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

非連結子会社であった株式会社神姫タクシー姫路は、連結子会社である神姫観光株式会社を存続会社として吸収合併したため、第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	自動車運送	車両物販・整備	不動産	レジャーサービス	旅行貸切	計		
売上高								
外部顧客への売上高	14,337	5,027	2,914	3,046	3,188	28,514	2,765	31,280
セグメント間の内部売上高又は振替高	162	1,480	491	—	55	2,190	51	2,241
計	14,499	6,507	3,406	3,046	3,244	30,704	2,817	33,522
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△1,050	431	908	△30	△9	249	△110	138

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、経営受託、索道業、食料品・化粧品等の物品販売、広告代理、Webサービス、農業、介護、保育等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	249
「その他」の区分の損失(△)	△110
セグメント間取引消去	9
四半期連結損益計算書の営業利益	148

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	自動車運送	車両物販・ 整備	不動産	レジャー サービス	旅行貸切	計		
売上高								
外部顧客への売上高	15,178	5,313	3,441	3,395	4,341	31,670	3,278	34,948
セグメント間の内部 売上高又は振替高	163	1,716	632	—	67	2,579	52	2,631
計	15,341	7,030	4,074	3,395	4,408	34,250	3,330	37,580
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	△848	514	1,068	44	107	886	△111	775

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、経営受託、索道業、食料品・化粧品等の物品販売、広告代理、Webサービス、農業、介護、保育等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	886
「その他」の区分の損失(△)	△111
セグメント間取引消去	△16
四半期連結損益計算書の営業利益	758